

茨城県知事選挙 2017 原子力政策についての公開質問状

ご回答用紙

回答者（茨城県知事選立候補予定者）

お名前：鶴田 真子
まにこ

問1 原子力安全協定の見直しについて

現在、東海村、日立市、ひたちなか市、那珂市、常陸太田市、水戸市の首長らで構成する「原子力所在地首長懇談会」が日本原電に対して「原子力安全協定の見直し」を要求しています。県知事候補予定者としての考え方を聞かせてください。（どれか1つに○をつけてください）

A 現状のままでよい。見直す必要はない。

B 首長懇談会の要請通り、安全協定は見直すべきである。

C 現段階では答えられない。

原発が事故を起こした場合に被害を受けるのは立地自治体だけではありません。
周辺の市町村は実効性のある发言権を認めるべきです。

問2 原子力災害に備えた茨城県広域避難計画について

既に県での策定がまとまったとされ、現在各自治体で具体的な策が検討されている「原子力災害に備えた茨城県広域避難計画」についてお尋ねします。県知事選立候補予定者としてこの計画は、見直す必要があると考えますか。実効性に照らしてご回答をお願いします。（どれか1つに○をつけてください）

A 現状のままでよい。見直す必要はない。

B 見直す必要がある。

C 現段階では答えられない。

実効性をもつて東海第二原発について、
また他のあく広域避難計画を作ることへの不切合性と
感じます。

問3 東海第二原発の運転再開について

仮に、原子力規制委員会により、科学的・技術的見地から、東海第二原発の「適合性審査」、および「運転期間延長申請」が認められた場合、県知事は運転再開の是非について総合的な見地からの「判断」を求められます。その時、運転再開に同意されますか。（どれか1つに○をつけてください）

A 運転再開に同意する。

絶対に同意しません。

B 運転再開に同意しない。

C 現段階では答えられない。